

## 発生動向の概況

**RSウイルス感染症**の定点当たり報告数は、第 32 週 2.1 人から第 33 週 3.2 人と増加しました。この疾患は、2 歳以下の乳幼児を中心に流行し、発熱や鼻汁、咳などが主な症状ですが、時に肺炎などをおこすことがあります。感染経路は、咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物を介した接触感染です。年長児や成人などが知らないうちに乳幼児へ感染させる場合がありますので、症状がある方はマスクの着用を心がけましょう。また、手すり、おもちゃなど乳幼児の手が触れる場所や物をアルコールや塩素系の消毒剤でこまめに消毒するとともに、外出後や食事の前には、液体せっけんと流水での手洗いを励行しましょう。

**手足口病**の定点当たり報告数は、第 32 週に 8.4 人と今シーズン最も多くなりましたが、第 33 週は 4.9 人と急減しました。地域別にみると、松山市保健所、八幡浜保健所で多発し、今治保健所、中予保健所で多く、四国中央保健所、宇和島保健所ではやや多い状態です。この感染症は、患者の鼻やのどの分泌物のほか、便、水疱内容物などによって感染が広がります。感染予防のため、液体せっけんと流水での手洗いを励行し、タオルやコップの共用は避けましょう。

**百日咳**の届出が 9 例ありました。届出対象となった 2018 年第 1 週から第 33 週までの県内の届出数は 75 例となり、このうち 15 歳未満が 58 例と全体の約 80%を占めています。この疾患は百日咳菌によっておこる急性の気道感染症です。主な症状は長期間続く咳で、感染力が強く、生後 6 ヶ月未満の乳児が感染すると重症化する場合があります。家庭内感染をおこしている例もみられますので、特に乳児がいる家庭は早めに医療機関を受診するなど、感染防止に努めましょう。また、予防にはワクチンの定期接種が有効ですので、詳しくはお住まいの市町予防接種担当課へお問い合わせください。

## 県内での感染症発生状況

### 全数把握感染症

二類感染症：結核 6 例




五類感染症：カルパペナム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 例 (90 歳代女性)

梅毒 2 例 (20 歳代女性、20 歳代男性、2018 年県内累計 44 例)

百日咳 9 例 (男性：10 歳代 5 例、女性：10 歳未満 1 例、10 歳代 1 例、40 歳代 2 例)

\*その他、第 27 週分として梅毒 1 例 (30 歳代女性) 第 30 週分としてアメーバ赤痢 [五類感染症] 1 例 (50 歳代女性)、第 31 週分として薬剤耐性アシネトバクター感染症 [五類感染症] 1 例 (80 歳代男性) の届出がありました。

定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
RSウイルス感染症	 3.2	増加。県内全域で多い。
手足口病	 4.9	急減。松山市、八幡浜保健所で多発、今治、中予保健所で多い。
ヘルパンギーナ	 1.0	減少。八幡浜保健所でやや多い。

### 解析評価委員のコメントから

RSウイルス感染症：[東予]西条市、今治市で見られます。[中予]増加しています。



[南予]当院にも先週 6 名の方が入院しました。

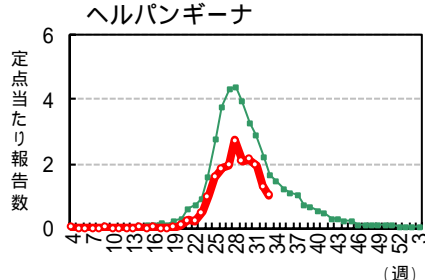
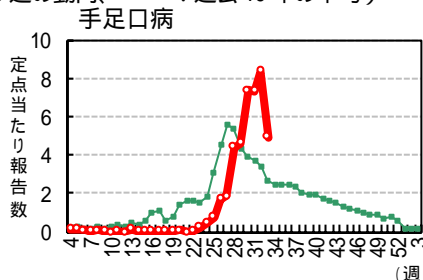
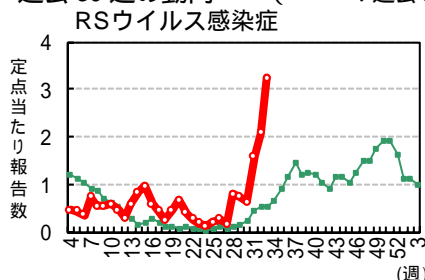
手足口病：[東予]今治市で見られているがやや減少。西条市ではたまにみられる程度。

[中予]横ばい状態からやや減少傾向です。[南予]宇和島でも今週はピークを過ぎた感じがありますが、しばらく猛威を振るっていました。

ヘルパンギーナ：[東予]減少。[中予]多くはありませんが引き続きみられます。

[南予]宇和島では爆発的な増加は示しませんが、しっかりと発生が認められます。

過去 30 週の動向 (  : 過去 30 週の動向、  : 過去 10 年の平均 )



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.lg.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.lg.jp) までお願い致します。

第29週に四国中央で採取された手足口病患者検体からコクサッキーウイルスA10型が1例検出されました。

第29週及び第30週に西条で採取された発疹症患者検体からコクサッキーウイルスA9型が2例検出されました。

この他、第29週から第31週に採取された手足口病、発疹症及び無菌性髄膜炎患者検体からエンテロ様ウイルスが8例分離され、現在同定中です。

過去5週 検出病原体

(2018年7月16日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
29	7/16~7/22	四国中央	手足口病	コクサッキーA10	咽頭ぬぐい液	1
		西条	発疹症・不明発疹症	コクサッキーA9	咽頭ぬぐい液	1
30	7/23~7/29	西条	発疹症・不明発疹症	コクサッキーA9	咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

検体採取月		2018						合計
検出病原体		3	4	5	6	7	8	
ウイルス	コクサッキーA2			1	4			5
	コクサッキーA9					2		2
	コクサッキーA10				2	3		5
	コクサッキーA16				1	2		3
	エコー4				1			1
	エコー18					1		1
	ライノ				1			1
	インフルAH3	6	7	1				14
	インフルB(ビクトリア)	2						2
	インフルB(山形)	4	1					5
	ロタ	1	2	3				6
	ノロ		8	2				10
	サボ					1		1
	アデノ	1	1					2
アデノ2					1		1	
アデノ3				1			1	
ウイルス計		14	19	7	10	10		60
細菌	カンピロバクター			2				2
	A群溶レン菌		2	1				3
細菌計			2	3				5

臨床診断別検出結果(2018年6月以降採取検体)

検出病原体	咽頭熱	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	無菌性髄膜炎	上気道炎	発疹症・不明発疹症	合計
コクサッキーA2				2		2		4
コクサッキーA9							2	2
コクサッキーA10			2	2			1	5
コクサッキーA16			3					3
エコー4					1			1
エコー18							1	1
ライノ						1		1
サボ		1						1
アデノ2			1					1
アデノ3	1							1
ウイルス計	1	1	6	4	1	3	4	20

注) 表中の検出数は8月21日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。

# 愛媛県 定点把握五類感染症 2018年 第33週 (2018.8.13 ~ 8.19)

	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点									
	1)			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)		1)		
	インフルエンザ	迅速検査A型	迅速検査B型														ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎			インフルエンザ(入院)	
患者報告数																									
保健所別	四国中央			4	1	1	8		6				1		-	-									四国中央
	西条			21	1	11	46		9			7	6			2									西条
	今治			27	2	2	9	1	19	2	3	6	1		5									今治	
	松山市			49	2	8	53	5	76	1	9	7	1		2	-	-	-	-	-	-			松山市	
	中予			6		6	11	2	19		3	2		1									中予		
別	八幡浜			6		1	11		41		2	11										1		八幡浜	
	宇和島			7			6		12		1	5	1											宇和島	
週推移	愛媛県			120	6	29	144	8	182	3	25	38	3		10								1		愛媛県
	1週前			77	6	44	155	4	309	1	22	48	2		18					1	7				1週前
	2週前			59	10	63	203	2	272	1	26	72	2		19						2				2週前
	3週前	1		23	18	54	225	9	265	1	26	77	4		23						6				3週前
年齢別	0-5ヶ月			12																					0
	6-11ヶ月			28			11		5		10	3													1-4
	1			59	1	2	24	3	46		8	10											1		5-9
	2			12	1	1	19		47		5	6			1										10-14
	3			5	1	5	18	1	29		2	6	2		1										15-19
	4			3	2	5	11	1	19	1		5	1												20-24
	5			1		3	12		19			3													25-29
	6						9	1	9	1	1	1													30-34
	7						5	8	1	1	1	1													35-39
	8						2	7	1	3		1													40-44
	9						1	5		1															45-49
	10-14				1		3	8		3			1												50-54
	15-19						1	1							1										55-59
	20-29 <sup>5)</sup>						1	11					1		1										60-64
	30-39														1										65-69
	40-49														1										70-
50-59														3											
60-69														1											
70-79 <sup>6)</sup>																									
80-																									

### 定点当たり報告数

保健所別	四国中央	-	-	1.3	.3	.3	2.7		2.0			.3		-	-									四国中央
	西条	-	-	3.5	.2	1.8	7.7		1.5		1.2	1.0			2.0									西条
	今治	-	-	5.4	.4	.4	1.8	.2	3.8	.4	.6	1.2	.2		5.0									今治
	松山市	-	-	4.5	.2	.7	4.8	.5	6.9	.1	.8	.6	.1		.7	-	-	-	-	-	-			松山市
	中予	-	-	1.5		1.5	2.8	.5	4.8		.8	.5			1.0									中予
別	八幡浜	-	-	1.5		.3	2.8		10.3		.5	2.8								1.0				八幡浜
	宇和島	-	-	1.8			1.5		3.0		.3	1.3	.3											宇和島
愛媛県	-	-	3.2	.2	.8	3.9	.2	4.9	.1	.7	1.0	.1		1.3						.2				愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。  
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。  
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。  
 4) オウム病を除く。  
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。  
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。  
 \*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

### (参考) 保健所別定点数

定 点	数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は8月22日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

# 愛媛県 定点把握五類感染症 2018年 第32週 (2018.8.6 ~ 8.12)

	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点									
	インフルエンザ	1)		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎		1) インフルエンザ(入院)		
		迅速検査A型	迅速検査B型																						
患者報告数																									
保健所別	四国中央			1			7		3		2	3		-	-										四国中央
	西条			10	2	7	46		9		7	9	1		1										西条
	今治			10	1	6	9	1	43	1	2	5			10										今治
	松山市			40	3	16	72	3	79		5	8	1		6		-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
	中予			11		14	9		46		2	3													中予
別	八幡浜			2		1	4		65		3	16			1					7				八幡浜	
	宇和島			3			8		64		1	4												宇和島	
週推移	愛媛県			77	6	44	155	4	309	1	22	48	2		18					7				愛媛県	
	1週前			59	10	63	203	2	272	1	26	72	2		19					2				1週前	
	2週前	1		23	18	54	225	9	265	1	26	77	4		23					6				2週前	
	3週前			27	8	44	177	4	171	1	30	77	5		16					3				3週前	
年齢別	0-5ヶ月			7					2			2												0	
	6-11ヶ月			12	2	1	6		9		8	7								4				1-4	
	1			36		1	19		71		12	14			1				3				5-9		
	2			11		1	21		75		1	11			1								10-14		
	3			8	3	9	18		69			8	1		1								15-19		
	4			3	1	6	20	1	41		1	3			1								20-24		
	5					7	12	1	24	1		2			1								25-29		
	6					4	7		6			1											30-34		
	7					5	12	1	6						1								35-39		
	8					3	7	1	2							1							40-44		
	9					2	3																45-49		
	10-14					4	15		4														50-54		
	15-19					1	4																55-59		
	20-29 <sup>5)</sup>						11									3							60-64		
	30-39															1								65-69	
	40-49															1								70-	
50-59																									
60-69															4										
70-79 <sup>6)</sup>															3										
80-																									

### 定点当たり報告数

四国中央	-	-	.3			2.3		1.0		.7	1.0		-	-										四国中央
西条	-	-	1.7	.3	1.2	7.7		1.5		1.2	1.5	.2		1.0										西条
今治	-	-	2.0	.2	1.2	1.8	.2	8.6	.2	.4	1.0			10.0										今治
松山市	-	-	3.6	.3	1.5	6.5	.3	7.2		.5	.7	.1		2.0		-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予	-	-	2.8		3.5	2.3		11.5		.5	.8													中予
八幡浜	-	-	.5		.3	1.0		16.3		.8	4.0			1.0					7.0					八幡浜
宇和島	-	-	.8			2.0		16.0		.3	1.0													宇和島
愛媛県	-	-	2.1	.2	1.2	4.2	.1	8.4	.0	.6	1.3	.1		2.3					1.2					愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。  
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。  
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。  
 4) オウム病を除く。  
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。  
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。  
 \*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

### (参考) 保健所別定点数

定 点	数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は8月15日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。



全国 定点把握感染症 2018年 第31、32週 (2018.7.30～8.12)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点						
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎	
31 週	愛媛県		1.6	.3	1.7	5.5	.1	7.4	.0	.7	1.9	.1		2.4				.3		
	近 県	香川県	.0	1.1	.3	1.4	5.4	.6	.6	.0	.2	2.0	.2		.8				.2	
		徳島県		2.8	.3	1.1	5.8	.2	3.8	.4	1.0	3.4	.0						.1	
		高知県		.3	.7	.8	2.3	.3	1.5	.1	.3	.5	.1		.7				.4	
		全 国	.1	1.3	.5	1.4	3.9	.2	1.7	.3	.5	3.1	.2	.0	1.1	.0	.0	.1	.2	.0
	北海道	.0	.5	.7	1.9	1.6	.3	5.1	.1	.4	1.5	.1	.0	.7		.0	.0	.3		
	東北	.0	1.2	.4	1.2	2.9	.2	1.6	.3	.5	4.7	.2		.7	.0		.0	.5		
	関東	.0	1.1	.5	1.6	3.6	.3	1.2	.7	.5	3.5	.1	.0	1.6	.0	.0	.1	.3	.0	
	甲信越北陸		1.0	.7	1.4	4.2	.1	.7	.2	.5	5.3	.2	.0	.5		.0	.0	.1		
	東海	.1	1.2	.4	1.0	3.2	.2	.9	.1	.4	3.9	.1	.0	.5			.1	.3		
近畿	.0	1.4	.4	1.2	4.1	.2	1.4	.1	.4	2.5	.1		.5		.0	.0	.3			
中国四国	.1	1.4	.4	1.5	4.4	.2	2.1	.1	.5	1.7	.1		.9			.1	.2			
九州沖縄	.2	2.4	.7	1.8	5.5	.3	3.0	.0	.6	1.8	.3	.0	2.2			.0	.1			

(8.8集計)

32 週	愛媛県		2.1	.2	1.2	4.2	.1	8.4	.0	.6	1.3	.1		2.3				1.2		
	近 県	香川県	.1	1.3	.2	1.1	4.1	.2	.4		.5	1.1	.2		.3					
		徳島県		2.4	.3	.7	3.9	.1	1.7	.3	.7	2.4							.1	
		高知県		.6	.6	.8	1.9	.2	1.5	.1	.4	.3	.1		1.7				.3	
		全 国	.0	1.4	.4	1.1	3.1	.2	1.4	.2	.4	2.3	.1	.0	.8	.0	.0	.0	.2	.0
	北海道		.4	.4	1.5	1.3	.3	4.2	.1	.3	1.5	.0	.0	.4				.2		
	東北	.0	1.2	.3	1.1	2.5	.2	1.3	.2	.4	4.2	.1		.7		.0		.5		
	関東	.0	1.2	.4	1.2	3.2	.2	1.2	.6	.4	2.7	.1		1.2		.0	.0	.2	.0	
	甲信越北陸	.0	1.1	.5	1.2	3.1	.1	.8	.1	.5	4.1	.2	.0	.3	.0	.1	.1	.3		
	東海	.0	1.2	.4	.7	2.3	.1	.6	.1	.3	2.8	.1		.5	.0		.1	.1		
近畿	.0	1.4	.3	.9	2.9	.2	1.0	.1	.3	1.7	.1		.3		.0	.0	.2			
中国四国	.1	1.4	.3	1.2	3.7	.1	1.9	.1	.4	1.1	.1		1.0		.0	.0	.2			
九州沖縄	.2	2.3	.6	1.3	4.2	.2	2.0	.0	.4	1.3	.2	.0	1.6			.1	.1			

(8.15集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

